DJ-M1　全セットモード

説明書に表記していない、拡張部分を含む全セットモードの内容と操作方法です。
意味が分からずに変更すると異常と思われる動作をすることがありますのでご注意ください。

主に通常のトランシーバーで使う設定で、複数同時通話機の DJ-M1 では意味がないか、変えないほうが良いものがほとんどです。

No.	項　目	表　示	初期値	備　考
1	スケルチレベル設定	SqL	3	0 ～ 5
2	ビープ音量設定	bEEP	3	0 ～ 5
3	Ni-MH 電池充電機能	CHArGE	oFF	oFF - on
4	ランプオン/オフ設定機能	LAmP	5	oFF - 5(Second) - on
5	PTT ホールド設定	PttHLd	on	oFF - on
6	コンパンダー機能	ComPnd	on	oFF - on
7	秘話機能（スクランブルトーク）	ScrbLE	oFF	oFF - on
8	操作音設定	Sound	on	oFF - on
9	ベル機能	bELL	oFF	oFF - on
10	エンドピー機能	EndP	on	oFF - on
11	バッテリーセーブ機能	bS	on	oFF - on
12	オートパワーオフ機能	APo	oFF	oFF - 30 - 60 - 90 - 120
13	電池（電圧）参照機能	*.**	-	
14	通話モード変更機能　※	modE	1	1 - 2
15	モニターホールド機能	monHLd	oFF	oFF - on
16	PTT オン/オフ設定機能	Ptt	on	oFF - on - oUt

[拡張セットモードの操作]
（キーロックしてから、4 秒以内に入力しないと無効）

キーロック　→　4 秒以内に モード キーを 5 回、連続で押す　→　成功すると「ピピピピピッ」とビープ音が鳴る。セットモードに入ると操作できる項目が増えている。

[拡張セットモードの解除]
①　設定変更した内容を保持して、表示だけ隠す

コマンド入力 : 上記の繰り返し。ビープ音が２回「ピピ」と鳴り、セットモード項目が１～５のみになる。

②　変更した内容も含めて、全部のセットモード設定を初期値にリセットする。

完全リセット : ファンクション ＋ モード ＋ モニター の 3 つのキーを同時に押しながら電源 ON

セットモード項目の内容の詳細

メニュー６ : コンパンダー機能
コンパンダー機能をオン/オフできます。
通常、オフ設定する必要はありません。

メニュー７ : 秘話機能（スクランブルトーク）
秘話機能をオン/オフできます。
グループで同様の設定をする必要があります。

メニュー８：操作音設定
キー操作音のオン/オフを設定できます。

メニュー９：ベル機能
ベル機能のオン/オフを設定できます。
オンにすると、呼び出されたことを表示とベル音でお知らせします。

メニュー１０：エンドピー機能
「PTT」キーを離したときの「ピッ」音のオン/オフを設定できます。

メニュー１１：バッテリーセーブ機能
バッテリーセーブ機能をオン/オフできます。
オフに設定すると受信時の頭切れが軽減できますが、電池寿命は短くなります。複数同時通話では切り替える必要はありません。

メニュー１２：オートパワーオフ機能
オートパワーオフ機能をオン/オフできます。
オン（30 分～120 分）から選べます。設定時間が経過すると自動的に電源をオフにします。

メニュー１３：電池（電圧）参照機能
電池電圧を表示する機能です。値はあくまで参考値で、テスターの様に電池電圧を測定するものではありません。

メニュー１４：通話モード変更機能
mode1（4 者同時通話）と mode2（2 者同時通話）を切り替える機能です。

mode1　初期状態で通常の 4 者同時通話設定です。

mode2　子機 2 台で同時通話する設定です。「ch01～ch12」の 12 チャンネルが使用できます。
チャンネル番号の変更方法
「フック」キーと「ファンクション」キーを同時に押しながらダイヤルを回します。

注意：mode1/mode2 では、同じ周波数を使用しているため同じ通話エリアで混在して使用しないでください。混信の原因となりますのでご注意ください。

メニュー１５：モニターホールド機能
モニターホールド機能をオン/オフできます。
オンに設定すると、「モニター」キーを押すごとにスケルチのオン/オフが切り替わります。

メニュー１６：PTT オン/オフ設定機能
「PTT」キーのオン/オフ/外部設定できます。
本機をモニター専用機として使用する際、オフにしておくと誤操作を防ぎます。
また、外部設定にして本体「PTT」キーの誤操作を防ぎます。

以上